

平成 2 9 年 1 2 月 6 日

**2017 年度日本生物工学会北日本支部 福島シンポジウム  
「東北，北海道から起こす酵素研究開発の潮流」開催**

日本生物工学会北日本支部では、下記の日程によりシンポジウムを開催いたします。

支部所属の研究者による研究発表シンポジウムおよびポスターセッションを予定しております。

県内で初めての開催となり、参加費はいずれも無料、どなたでも参加可能となっております。ついては、広くご周知いただくとともに、当日のご取材方どうぞよろしくお願いいたします。

記

日 時：2017 年 12 月 25 日（月）10:00～17:45

場 所：コラッセふくしま（福島市三河南町 1 番 20 号）

研修室 A（ポスターセッション）

小研修室（シンポジウム）

参加費：無料（懇親会のみ有料）

主 催：公益社団法人 日本生物工学会 北日本支部

（[https://www.sbj.or.jp/event/kitanihon\\_fukushima\\_sympo\\_20171225.html](https://www.sbj.or.jp/event/kitanihon_fukushima_sympo_20171225.html)）

共 催：福島大学学術振興基金

（お問い合わせ先）

共生システム理工学類 教授

杉森 大助（事務局）

電 話：024-548-8206

メー ル：sugimori@sss.fukushima-u.ac.jp

【プログラム】

<ポスターセッション> 10:00~12:00 学生ポスター賞あり

<シンポジウム>

- 13:30~13:35 開会の辞...阿部 敬悦(日本生物工学会 北日本支部 副支部長)
- 13:35~14:10 「酵素合成を利用した機能性糖質材料の開発と展開」  
...尾形 慎(福島工業高等専門学校 化学・バイオ工学科)
- 14:10~14:45 「ランダム変異導入による大腸菌アセチルエステラーゼの活性向上」  
...春木 満(日本大学工学部 生命応用化学科)
- 14:45~15:20 「酵素はどこまで進化させられるか:L-グルタミン酸オキシダーゼの耐熱化とリゾ型プラズマローゲン特異的ホスホリパーゼDの基質特異性改変を例に」  
...杉森 大助(福島大学 共生システム理工学類)
- 15:20~15:40 休憩
- 15:40~16:15 「細胞分離用酵素コラゲナーゼの構造と医療への応用」  
...村山 和隆(東北大学大学院医工学研究科)
- 16:15~16:50 「放射光利用とタンパク質機能開発」  
...日高 将文(東北大学大学院農学研究科)
- 16:50~17:25 「生分解性プラスチックの分解に関する、エステラーゼと界面活性足場蛋白質の協同による分解祖進機構」  
...阿部 敬悦(東北大学大学院農学研究科)
- 17:25~17:45 学生ポスター賞授賞式・閉会の辞  
...湯本 勳(生物工学会 北日本支部 支部長)